

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 生涯学習課

会議の名称	平成30年度 第2回茅野市社会教育委員の会議		
開催日時	平成31年 3月19日(火) 午後1時25分～3時42分		
開催場所	茅野市役所 議会棟大会議室		
出席者	宮坂昌一委員長、平出美彦副委員長、市川純章委員、大下京子委員、金田照俊委員、志津千代子委員、長谷川孟三委員、矢崎美知子委員、笠井正啓委員 山田教育長、平出生涯学習部長、牛山こども部長、藤森生涯学習課長、両角文化財課長、中村スポーツ健康課長、五味こども課長、矢島中央公民館長、田中中央公民館教育係長、両角家庭教育センター館長、辻井図書館長、若宮八ヶ岳総合博物館長、両角八ヶ岳総合博物館係長、柳川八ヶ岳総合博物館古文書担当、中澤神長官守矢史料館長、上条スポーツ健康係長、今井こども係長、北澤文化芸術係長、伊藤生涯学習係長、畑中教育指導主事、両角生涯学習係主任		
欠席者	伊藤正巳委員、矢崎智義委員		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
山田教育長	<p>1 開会(藤森生涯学習課長)</p> <p>2 教育長あいさつ 皆さんお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本年度2回目の社会教育委員の会議です。第1回が6月7日でした。その時に今年度の事業計画と方針を発表しました。今日は、非常に項目が多くなりますが、事業報告や課題についての報告になります。よろしくお願いいたします。</p> <p>今年度は、4月1日に中央公民館がオープンし、新たな公民館活動がスタートしました。当日も、2階のホールに入りきれない位の人が集まって、盛大な発表ができたと思います。また高齢者大学では、最高齢が94歳のとてもお元気な方が学んでおられます。その他にも、市制60周年のコンサート、例年行われている芸術祭、芸能祭などの公民館活動、博物館や資料館、考古館、スポーツ健康課の関係行事など様々な事業が計画に沿って進められてきました。第5次総合計画では、地域をあらゆる世代で支え合う仕組み作りがうたわれています。生涯学習がその中で大きな地位を占めていると思います。茅野市は全国でも4番目の、昭和63年に生涯学習都市宣言が制定されましたが、現在の全国各地の様子を見ると、公民館活動をはじめとする生涯学習活動の新たな課題が浮かび上がり、新たなものを創りあげて行く時が来ています。今日皆様方にご意見を出していただき、来年度に向かってより素晴らしいものを作っていきたいと思っています。</p>		
宮坂委員長	<p>3 委員長あいさつ こんにちは。教育長からも話がありましたが、第2回ということでよろしくお願いいたします。1月の最初に、保育園ではじめの会がありました。その</p>		

	<p>時に私が干支の話をしたところ、帰りに年中の子どもが母親に「猪が見たいけど、どこに行けばいい?」と聞いていました。母親も困ってこちらを見ていたので、「山に行けば会えるかな」なんて答えたのですが、そのうち子どもが、「これから八ヶ岳に行こう」と言い出したので考えました。ふと思いついたのが、八ヶ岳総合博物館です。二人に総合博物館を案内したところ、1日か2日後に「博物館で本物に会ってきた」と報告してくれました。母親は、総合博物館に初めて行ったそうです。何気なく私たちが言ったことですが、市内のいろんな施設に関わりながら、子どもも、実物・本物を見る中で、こういうものなんだと感じ取っていきける。そういう施設が、市内には総合博物館だけでなく多々あるということ、より多くの市民の方に分かってもらい、足を運んでもらえる。そういうことを伝えるという役目も、社会教育委員にはあるのかなと思いました。今日はそれぞれの部署から報告をいただく訳ですが、皆で成果や改善点を出し合っていけたら良いと思います。</p> <p>4 会議の公開について 審議に先立ち、審議会の公開について説明を行う。 (出席委員からは意見なく承認)</p> <p>5 会議事項 (1) 平成30年度社会教育関係主要事業報告・課題について 資料に基づき、平成30年度主要事業報告・課題について、生涯学習係長、中央公民館長、家庭教育センター館長、図書館長、文化財課長、八ヶ岳総合博物館長、神長官守矢史料館長、スポーツ健康課長、子ども課長から説明を行い、説明毎意見交換・質疑応答を受ける。</p>
伊藤生涯学習係長	
市川委員	<p>①生涯学習課 毎年多くの事業の計画・実施ありがとうございます。開かれた学校づくりは、クラブ活動への支援だけなのか、それ以外のことも入っているのか。</p>
畑中教育指導主事	<p>両方入っている。クラブ活動で、地域の方が入っている場合もあるし、授業の中で講師として入ってもらう場合とある。</p>
市川委員	<p>45講座というと、各学校たくさん講師を招いているように思うので数が合わないのかなと思う。</p>
畑中教育指導主事	<p>複数回の講座もあるので、延べ回数も右側にある。45講座というのは、開かれた学校づくりとして謝礼を支払っている件数。実際にはボランティアで来られている講師もいるが、それはここには入っていない。</p>
市川委員	<p>最後の6ページの今後の課題という部分について、できれば、各事業をやってみての感想や課題が書いてあると、次のヒントになるのではないかと。他の部署の報告も全般的に、統一でなくいろいろ。今後どうしていくのかということまで書いてあるところと、やったことだけ書いて終わっているところとある。運営した当事者として、どうだったか、どうしたいか、というところまで簡単にまとめると、報告書としては良い。次がどうなっていくかという期待が読み取れると思う。</p>

宮坂委員長	<p>学校開放講座は、学校の先生の要請で講師を依頼しているのか、それとも生涯学習課が呼びかけて募集をするのか。</p>
畑中教育指導主事 市川委員	<p>学校の要請で依頼している。</p>
畑中教育指導主事	<p>自分も開かれた学校づくりの講師として2校に行ったが、1校の報告書にはなかった。件数も45件は少ない印象だったので。 1校は開かれた学校づくりではない扱いだった可能性がある。</p>
大下委員	<p>②中央公民館</p>
矢島中央公民館長	<p>若者がなかなか集まらないという話があった。昔勤青ホームがあった時には、利用者の若い人たちが芸術祭で蕎麦やうどんを振る舞っていた。やらなくなって寂しくなったからということで、婦人会が引き継いでやっている。昔はクリスマスパーティーをやったりして、若者がすごく集まっていた。時代のせいかなと思うが、どこの会も若い人たちがこっちを向いてくれない。これから大変だなと思う。</p>
市川委員	<p>わかもの放課後倶楽部は、企画会議を開きみんなで講座の内容を決めたが、出席率が低かった。若者の心を捕らえるのは難しいと感じた。今年は芸術祭の時に、婦人会のブースへボランティアとして、わかもの放課後クラブのメンバー3名が来てくれた。とても楽しかったと話していたし、婦人会の皆さんも良かったと言ってくれた。若者の心を掴み、またそれを広げていくのが難しいと思う。またアイデアがありましたら教えて下さい。</p>
宮坂委員長	<p>公民館講座について、地域の事を学ぶというのは良いなと思う。大学は、他の地域からの学生が大勢集まる。どの地域にもその土地の文化がある、ということを手伝ってもらいたいと思う。学生に講座を受けてもらいたいと思うので、地域連携センターで考えていきたい。団体を見ると、立ち上がった時から続けているメンバーがそのまま時を経ている場合が多い。何十年かすると、高齢化で無くなってしまわないかと思う。正確な実態は分からないが、時代と共に変わってしまったということもあるので、続けて行く事は大切だとは思いますが、運営当事者の実態として感じる事、課題を表面化することも大事。</p>
矢島中央公民館長	<p>わかもの放課後倶楽部を職員に紹介しておきながら、感想を聞かなかったことが反省。前宮のマップについては、職員に見るように話したら、何人かは実際に行ってきたと話した。公民館報等で見ただけではなく、誰かに顔を見て「どう？」と言われることも大事なんだなと感じた。言葉で伝えていきたいと思っている。</p> <p>私の住んでいる地域は、歴史が浅い。地域の中で、「地域を学ぶ」というのをやりたいと話したら、「昔からある地域は良いが、発掘されたようなものもないし難しい」と言われた。新しい地域にも、何か学べるものがあれば紹介して欲しい。</p>
市川委員	<p>地域を学ぶことは、必ずしも古くからの歴史を学ぶことだけではない。数年前から、地域のお宝マップというものを一つの手立てとして提案している。その中で、ある地区がイモリにスポットを当てた。イモリでも、その</p>

	<p>地域の良さになる。切り口が大事。歴史を切り口にすると、新しい地域は厳しくなってしまう。イモリの生態をマップにしたというのは、私も驚いたが、新しい切り口だと思った。</p>
<p>矢崎美知子委員</p>	<p>4月1日にオープニングイベントとして、講堂を使ってステージ発表などを行ったが、とても楽しく、和気あいあいとしていた。踊りをやったり歌を歌ったり大変だったと思うが、あれがとっても良かったと皆さん仰っていた。改まった発表会ではなく、身近で和気あいあいとした発表会ができれば、もっと公民館が身近なものになると思う。こういった機会をまた作っていただければと思う。</p>
<p>矢島中央公民館長</p>	<p>いろいろなアイデアを出して、考えていきたい。</p>
<p>金田委員</p>	<p>地域の中には、区に入っている入っていないという問題がある。地域の中で、今後の高齢化や少子化、孤立化といった問題をどうやって解決し、支え合っていくか。それを、公民館の分館活動にもつなげて行けば、活動が幅広いものになると思う。</p>
<p>宮坂委員長</p>	<p>分館活動にもそういった視点を取り入れる事で、幅が広がるということになるほどと思った。</p>
<p>大下委員</p>	<p>③家庭教育センター 平成6年に家庭教育センターが出来た当時は、女性センターという名称だった。その後、当時の教育長から、現在の名称に変更する事が提案され現在に至っている。とても良い名前を付けてもらったと思っている。小さい子どもから高齢者まで、幅広い世代の利用者がいる。未就園児を対象とした行事を毎年開催し、今年は布ボールを作ってプレゼントした。終わった後まで子どもたちが喜んで遊んでいて嬉しかった。これも、家庭教育センターの全面的な協力のおかげ。また、教育長さんを囲む会では、泉野教育について話をしていただいた。教育長と泉野小学校の校長先生には、非常に分かりやすい講演をして頂いて感謝している。7月の終わりには、泉野地区で泉野教育について語る会があるので皆さんも機会があったら参加してみたい。</p>
<p>矢崎美知子委員</p>	<p>30ページに、「子育て・子育てワンポイントQ&A」はまとめた冊子ができたとある。講座への参加者等に配布しているとのことだが、もったいないなと思った。そだちあいちのやこども課に相談に来た方、入学式や入園式、健診の時でも良いが、お母さん方に活用してもらえれば良い。悩みがあったときに読めば、指針にもなると思う。</p>
<p>志津委員</p>	<p>④図書館 茅野高校図書委員によるおはなし会は、生徒が自ら選書し読み聞かせを行い小さな子ども達と触れ合うことで、生徒の有用感の高揚にも繋がっている。自分たちも誰かの役に立っているということも、併せて感じて欲しいということで、今後も継続していきたいと考えている。また先程から「わかもの」といったことに触れられているが、学校教育の中から出ていく時</p>

市川委員	<p>に、自分たちがどうやって生涯学び続けるのか、またどういった学びの場があるのかといったことは、すぐに地域の中で考えることは難しいと思う。高校の中で出来る事を、連携して考えていきたい。</p> <p>市民も、カードを使えば理科大の図書館を利用する事ができる。図書館は交流の場ではないが、活用して欲しい。全国にはユニークな図書館が幾つもある。図書館は人を集めるためのものではないが、接点がないと気づいてもらえない。図書館がきっかけで、接点を作ったり何かを共有したりできれば良い。</p>
笠井委員	<p>⑤こども読書活動応援センター</p> <p>調べ学習については、様々な研修会を用意して頂いていることと、司書に対する研修を開いて頂いているので、職員への浸透は図れていると思う。意識を高めて頂いているおかげで、この数字が維持できているのかなということも考えられる。子どもたちが主体的に深い学びが出来れば良いと思うので、好奇心の掘り起こしを職員としてもやっていかなければいけないし、保護者への働きかけも課題であると感じる。</p>
宮坂委員長	<p>調べさせられる子ども達ではなく、本当に心から知りたい、調べたい、と思えるように働きかけていってもらえれば良いと思う。</p>
平出副委員長 両角文化財課長	<p>⑥文化財課 文化財係</p> <p>⑦尖石縄文考古館・青少年自然の森</p> <p>縄文は茅野市の顔ということで、DMOとの連携の進み具合は。日本遺産については、甲信の関係市町村で縄文活性委員会を設置している。国の補助が3年間受けられるが、補助金が終わった後は自走していかなければならない。現在のところDMOとの連携はしていないが、今年ようやくスタートした、といったところなので、今後考えていく。</p>
宮坂委員長 両角文化財課長	<p>茅野市内の学校からは多く利用があるが、諏訪郡内からもっとあっても良いのではないかと。他の市町村への宣伝というのは何か行っているか。特にこちらから積極的にPRということはしていないが、考古館の情報自体は全国に発信している。</p>
宮坂委員長 両角文化財課長 宮坂委員長	<p>教育会館が諏訪市にあるが、校長会の時などにPRの機会を設けてもらっても良いと思う。郡外出身の校長先生も大勢いるので、興味を持ってもらうきっかけになるかもしれない。</p> <p>以前テレビで、青森だったか、昔の住居の中で煮炊きを体験するような番組をやっているのを見た。尖石でもそういった体験はできないか。遺跡の中、住居の中をイメージすると、やはり安全面に配慮が必要。また検討して欲しい。</p>
市川委員	<p>⑧八ヶ岳総合博物館</p> <p>どこの博物館も抱えている問題は、作った時と同じ展示のままであるということ。入れ替えにはコストもかかり難しい。大学では技術を学んでいるので、それをどう生かしていくか、コンテンツを作るという部分で何か</p>

<p>宮坂委員長</p>	<p>できないかということは以前から考えていた。市民とワークショップで展示物を作ったり掲示をすると、お金をかけて作ることだけが展示じゃないということが分かり、学習の機会、学びの機会にも繋がると思う。</p> <p>岡谷には蚕糸博物館があるが、茅野市には現在も蚕糸業を営んでいる家がある。茅野市の博物館でも、養蚕に関して何かできないかと思う。博物館を通して、岡谷の蚕糸博物館と連携することも考えられる。保育園、小学校、中学校と繋がって学べる窓口があると良い。</p>
<p>宮坂委員長 中澤神長官守矢史料館長</p>	<p>⑨神長官守矢史料館 マップを見ながら訪れるお客さんや子どもたちも入館するか。 マップについては、マップ片手に来館する方もいるので本当にお陰さだと思ふ。子どもの入館もある。</p>
<p>長谷川委員</p>	<p>⑩スポーツ健康課 幼児から小学生までのスポーツ教室ということで盛んにやっていただいております、私も時々行かせていただき、非常に良いなと感じている。スポーツに興味を持ちながら、走ったり飛んだりすることを一生懸命やっている。ぜひ続けていただきたい。お願いが2つある。一つは、建設から42年が経って一度も張り替えられていない体育館の床。重いバスケットゴールを動かすと、床が沈んでいるところがある。部分的には直してもらっているが、セットするのが大変。またバレーボールやバドミントンのポールが床から浮いてしまい、非常に危険な状態。もう一度しっかり見ていただき、直してもらいたい。床は、早い時期に張替えをお願いしたい。もう一つは、TOYOTAのガズレーシング。3年間は茅野市で行う計画とのこと。スポーツをやる為の運動公園が、危険があるということで、全施設が4日間も使えないという事態になっている。こういったことが無いよう、配慮していただきたい。</p>
<p>中村スポーツ健康課長</p>	<p>体育館の床については、近々に対処しなければいけない問題だと考えている。ガズレーシングについても、検討していかなければいけない課題であると認識している。</p>
<p>金田委員 平出生涯学習部長</p>	<p>リスが居なくならないように木を切ってもらいたいと思う。リスの生態に詳しい人に聞くなどして、今から対処して欲しい。</p> <p>先日、リスの専門の先生に来ていただき見てもらった。リスの研究者というのはとても人数が少ないとのこと。リス自体も、今は台湾リスが増え、二ホンリスが減っていると聞いた。リスは、生態的には普通、人間を見ると逃げて行くが、スポーツ公園にいるリスは逃げて行かず非常に珍しい。何年か繁殖していくうちに、人に驚かなくなったと思われる。餌になる木の本数については、十分にあるということで聞いている。現在カメラマンたちの中では、20～30匹くらいが園内にいるのではないかと認識されている。本来は、1haあたり1家族が山の自然の基準であり、この範囲に20～30匹では多すぎるとのこと。しかし実際にはそこにいるため、現在いるリスたちにとっては、餌や木については十分であるが、天敵に関</p>

<p>大下委員</p>	<p>しての防御が有効になると言われた。スポーツ公園全体の木が高齢化しており、伐採や枝払いが必要。木と木の間にはロープを張ってあげるなど配慮をしながら、リスとの共存を図りたいと思っている。</p> <p>⑪こども課こども係 育成センター情報の9月号の内容が非常に感動した。こども館のメイトさんが書いた記事が、とても良かった。</p>
<p>市川委員</p>	<p>～全体を通して意見・質問～ ホームページは、調べたいときに調べられるように情報を置いておく場所と考えられる。課の事業報告や、先程のQ&Aや育成情報は著作権等問題ないのであればホームページに載せることも考えられるが、ホームページに載せると書いていないのは、課の仕事になっていないということか。</p>
<p>牛山こども部長</p>	<p>ホームページの更新については担当課があり、その方針に従って各部署が対応している。要望については、担当課と相談していく。</p>
<p>市川委員</p>	<p>ホームページリニューアルに伴い、こどもの関係は新しくサイトが出来ると聞いている。ホームページ全体の事は地域戦略課で行うが、細かいページについては各課で考えていくと思うので、市民にとって見やすく知りたい情報がすぐ分かるホームページを作ってもらいたい。</p>
<p>平出副委員長 藤森生涯学習課長</p>	<p>市民館の活動については、生涯学習とどのような関係があるのか。 市民館については、本来社会教育委員の会議の議題としては挙がらないため、何か紹介できるものがあればすることになる。市民館の事業については、市民館協議会という会の中で意見を聴取している。</p>
	<p>(2) 意見交換・質疑応答 特になし</p>
	<p>6 その他</p>
	<p>7 開会（藤森生涯学習課長） 資料の全体的な統一がなされていない部分については、今後改良する。 今後社会養育委員の会議において、社会教育推進計画の意見集約を行うことになる。時期や内容は現時点では未定なので、決まり次第お願いする。</p>
	<p style="text-align: right;">～午後3時42分 会議終了～</p>